

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	山形県酒田市		2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化	
3 実施計画の名称	酒田市の文化遺産を活用した地域活性化プラン			【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度				
5 実施計画の概要					
平成30年度より定めた酒田市の新総合計画では「市内各地に残されているさまざまな文化財が、特色のある景観を生み出し、豊かな心を醸成しています。このような文化財等は各地域で受け継がれてきたものであり、今後も受け継いでいくことが期待されます。そのためには多くの市民が地域の歴史文化に関心を持ち積極的に関わる姿勢が求められます。」とされ、文化芸術振興を市の重点施策として取り上げている。また、市の取り組む具体的施策として「無形民俗文化財の保存と伝承を図るため、公演会などへの参加を促進します」とされている。 上記を踏まえ、本市で伝承されている民俗芸能の保存と活用を図るため、伝統芸能の上演とワークショップを実施することで、次世代の市民に継承の契機とし、地域の活性化につなげていく。					
6 実施体制					
酒田市が本実施計画に関わる全体の企画・調整や、各補助事業に関わる指導などを行なう。主な担当課、役割は下記のとおり。 ・教育委員会社会教育文化課：補助事業における有形無形の文化財の取扱に関する指導、調整。 ・松山総合支所：事業連携や地域振興 また、補助事業は次の団体が実施する。 「文化都市酒田」発信事業実行委員会 構成団体：生涯学習施設 里仁館、酒田市民俗芸能保存会、文化財保護審議会、酒田ふれあい商工会、松山能振興会、松諷社、酒田市、酒田市教育委員会					
7 実施計画における目標と期待される効果				別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 23,788 千円		平成30年度申請額： 356 千円	
		(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり		
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）					
多くの市民にとって松山能や黒森歌舞伎などの酒田に伝わる伝統芸能は、知られてはいるもののその文化的な意義については、強い関心があるとは言えない現状である。未来を担う子どもたちが狂言を題材として伝統芸能の魅力や面白さを知ってもらい興味を持ってもらうことは、将来的に酒田市だけでなく日本に古くから伝わる文化を守り育てることに繋がる。 また、松山能をはじめとする民俗芸能公演の観覧者増加や、生涯学習施設でもある会場の松山城址館を学校や市民に知ってもらう機会とし、学習活動やイベント等での活用促進が期待できる。 文化財を通して、酒田には歴史的資源が多く残っていることを知ってもらい、観光振興において集客やおもてなし人材の育成が期待される。					
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）					
事業概要：					
事業概要：					
事業概要：					
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等					
現在のところ計画作成の予定はありません。					
12 担当部局					
地方公共団体 担当部局課	教育委員会社会教育文化課				

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	松山能・黒森歌舞伎・民俗芸能公演会の観客者			関連事業:	酒田市の文化遺産を活用した地域活性化プラン事業	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 1,700 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2,000 人					
設定根拠 1 :	平成26年度から平成27年度の伸び率約100人を参考として毎年100人増					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
1,800 人	人	人	人	人	人	
33%						
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	生涯学習施設・松山城址館の利用者増			関連事業:	酒田市の文化遺産を活用した地域活性化プラン事業	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 6,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 6,500 人					
設定根拠 2 :	施設規模から毎年100人増					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
7,101 人	人	人	人	人	人	
220%						
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	酒田市立資料館の入館者数増			関連事業:	北前船寄港地 湊町酒田を再発見事業	
目標値 3 :	【現状値】 平成 28 年度 5,600 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 6,100 人					
設定根拠 3 :	施設規模から毎年100人増					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
5,868 人	人	人	人	人	人	
54%						

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	酒田市の文化遺産を活用した地域活性化プラン事業					実施団体：	「文化都市酒田」発信事業実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	県文化財に指定されている松山能登祥の地でもある松山城址館において、市内全校の小学5年生を対象とした狂言ワークショップを行い狂言の歴史、所作等を学ぶ。また、講師が狂言の上演を行なうことで、地方ではなかなか見ることのできない一流の芸能に触れさせるとともに狂言の面白さを伝え、子どもたちが伝統芸能に興味を持ってもらう機会とする。										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数						(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	松山子ども狂言の会の新規会員数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 1 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
-- 人	5 人	1 人	人	人	人						
#VALUE!	#DIV/0!	#DIV/0!									
事業②：	北前船寄港地 湊町酒田を再発見事業					実施団体：	「文化都市酒田」発信事業実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	北前船寄港地として栄えた湊町酒田の大廻船問屋、鐙屋にある古文書や、江戸時代後期の酒田の町が描かれている塞道幕絵などから、酒田の歴史や当時の文化について学び、酒田の歴史について理解を深める機会をつくる。										
評価指標区分：	・その他						(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	文化遺産展示施設の入館者の目標人数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 24,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 26,000 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
24,765 人	人	人	人	人	人						
38%											